

### 八幡市障がい者スポーツ大会

## ハッスルプレーに大歓声

スポーツを通じて障がい者を含む多くの市民がふれあいを深めようと「八幡市障がい者スポーツ大会」が10月16日、八幡市民体育館で開催されました。

今年で32回目を迎えた同大会は市が主催。市内のボランティア団体などの協力で行われました。

会場に集まった約240人の参加者は、2人1組で巨大なパンツに入って走る「デカパン競走」や「綱引き」「玉入れ」など7種類の競技に挑



パン食い競争に挑む参加者

### 綱引きやパン食い競走楽しむ

戦しました。会場内は競技を見つめる人の熱気あふれる声援で包まれていました。

「一生懸命頑張ります」と参加者を代表して選手宣誓をした吉岡知未さんは「宣誓は初めてで緊張したが、頑張ってきました」と笑顔で話しました。

午後からも磁石を付けた矢的的に投げて合計点を競う「マグダートツ」や「卓球パレ」などのゲームが行われ、スポーツの秋を満喫しました。



刈り取ったイネを遊ぶ子ども

## まわりの話題

### いつまでも歯は大切に

#### 「正しい歯磨き」親子で学ぶ



「80歳まで20本の歯を残そう」をテーマに歯科医師らによる歯科検診や歯磨き指導を行う「歯のひろば」が10月17日に開催されました。

市と府歯科医師会山城支部が主催。今年で27回目を迎え、親子連れなど764人が来場しました。歯の着色や歯科矯正の相談、ブラッシングの方法などについて質問しました。

歯磨き指導では、まず

歯科医師が子どもたちに歯の汚れに着色する赤い液を塗ります。鏡を見て磨き残しを確認した子どもたちは、歯科衛生士から正しい歯ブラシの持ち方や使い方を教わり、熱心に磨きました。

家族で来場した八幡吉原在住の田中紫織さん(9)は「しっかり磨いているつもりでも、まだ汚れが残っていてびっくり」と話しました。



歯科衛生士の指導を受け、熱心に歯を磨く来場者

### 美りの秋に感謝

#### 稲刈り満喫

有都幼児園、みやこ保育園の4、5歳児約80人が10月18日、幼児園近くの田んぼで保護者らと稲刈りを体験しました。

親子で秋の自然に触れ、収穫の喜びを感じてもらおうと、地元農家から約8軒ある田んぼの一部を借りて毎年実施しています。

イネは6月に子どもたちが田植えをした後、自作のかかしを立て、見守るながら世話

を続けてきました。子どもは、保護者らの助けを借り、黄金色に実った品種「ヒノヒカリ」のイネを次々と刈り取りました。辺りには「サクッ、サクッ」と小気味いい音と、子どもたちの「楽しいね」「イネのいい香りがする」などの歓声が響いていました。

収穫したコメは11月のクッキング活動でおにぎり作りをしていただきます。

このページでは、市民の皆さんの活動や身近な話題などを紹介しています。秘かに広報課までお問い合わせください。

### 八幡支援学校 京都八幡高校

## 授業交流で親交深める

京都八幡高校の北キャンパスで10月14日、八幡支援学校の生徒を招き、京都八幡高校の生徒と同じ授業を体験する授業交流が行われました。

両校の交流を図る試みは、支援学校がある南キャンパスで昼食をともにすることから開始。交流する場所を広げようと2学期から北キャンパスでの開催を計画しました。

支援学校高等部の生徒5人は、京都八幡高校の工芸科学コースに在籍する2年生20人と野菜や果物などをデザイ

ンした「土踏」という粘土細工作りに挑戦。同コースの生徒が支援学校の生徒1人を囲むグループに分かれ作業を始めました。

まず、中で音が鳴るよう粘土でビー玉サイズの玉を作り、新聞紙で包みます。手で伸ばした粘土を新聞紙に巻き付け、形を整えます。ヘラで鈴口を作り、完成させました。

同コース2年生の栗本康平さん(16)は「お互いきれいな作品が出来ていたと思います」と話していました。



粘土を使い土踏作りに励む生徒ら